

## 大分大学医学部医学科 臨床実習の指針(令和4年4月20日現在)

- 臨床実習の指針のレベルは医学部コロナ対策WTにおいて、県内の発生状況をもとに判断する。
- レベルの大まかな目安は以下のとおりとする。
  - レベル0: 大分県内において新型コロナウイルスによる市中感染がみられず、週あたり 50 人以下の感染者数。
  - レベル1: 大分県内において週あたり 50 人を超える感染者数。
  - レベル2: 大分県内において週あたり 250 人を超える感染者数。
  - レベル3: 本院において院内感染が確認される。
- **4月20日以降はレベル2** に準じて実施する。
- 学生は毎日の体温測定と体調や行動を記録し、その記録を毎日の実習前に指導医がチェックし、問題ないと判断した学生のみを実習に参加させる。
- 感染予防対策をとり、マスクは病院内では必ず装着させる。自分でマスクを準備できない場合は学務課より配布する。
- 患者や患者の周囲の医療器具等と接触する前後の手指衛生を徹底する。
- 原因不明の発熱、呼吸器症状などのある患者と学生の接触は避けるよう留意する。
- 手術参加実習や検査・処置の実技実習は、病院における個人防護具(PPE)の需給状況を考慮した上で実施する。

実習内容	レベル0	レベル1	レベル2	レベル3	注意事項
入院患者の医療 面接・身体診察	○	△	△	×	双方がマスクを着用し短時間で実施
病棟実習 (検査・処置)	○	△	△	×	エアロゾル発生リスクのある場合は注意して実施
外来実習	○	△	△*	×	双方がマスクを着用し実施
検査見学 (病棟外)	○	○	△	×	エアロゾル発生リスクのある場合は注意して実施
手術見学	○	○	△	×	エアロゾル発生リスクのある場合は注意して実施 麻酔導入(挿管)、抜管時には注意して実施
手術参加実習	○	△	△*	×	
回診	○	△	△*	×	3密に注意して実施
カンファレンス	○	○	△	×	3密に注意して実施
レクチャー	○	○	○	△	3密に注意して実施
スキルスラボ実習	○	○	○	△	3密に注意して実施
学外実習	○	△	△	×	受け入れ可能な県内医療機関のみ可
オンライン実習	○	○	○	○	

△は診療科ごとに判断する。(△\*は診療科の特性に応じ必要性を充分検討したうえで判断する。)

○は実施可。 ×は実施不可。

その他、少人数での症例カンファレンス、電子カルテ(BUNGO)上でのカルテ回診・症例検討、手術ビデオの供覧・解説、手術病理標本での講義、課題レポート等で補完する。